

明治大学未来サポーター給費奨学生

感謝のことば

2019 (抜粋版)

**M**  
SUPPORTER



## 「感謝のことば」について

「未来サポーター募金奨学金」を受給することになった学生には、寄付者に対するお礼を手書きで提出してもらっています。それらを「感謝のことば」という冊子にまとめ、寄付者の方にお送りすることで、学生の感謝の気持ちをお伝えしています。

1・2年生は明治大学に入学した理由、大学生活で挑戦したいことを、3年生は将来の目標・目指す進路を、4年生は大学生活を振り返った想いを込めています。

本冊子は今年度作成した「感謝のことば」の中から一部を抜粋してまとめたものです。全てをご紹介することはできませんが、寄付に対する学生の感謝の気持ちとそれに応える決意を感じていただければ幸いです。

### **明治大学給費奨学金（未来サポーター給費奨学生）**

本奨学金は、経済的理由により修学困難な学部生を対象とした給費奨学金（返還不要）です。授業料年額1/2相当額を給付します。

本奨学金は、2010年度に創設された「明治大学未来サポーター募金」のうち、「奨学サポート資金」への寄付金から支給されます。本学校友・ご父母・法人企業様など、諸先輩からの温かいご支援が原資となっています。

## ■ 2019年度未来サポーター給費奨学生採用結果

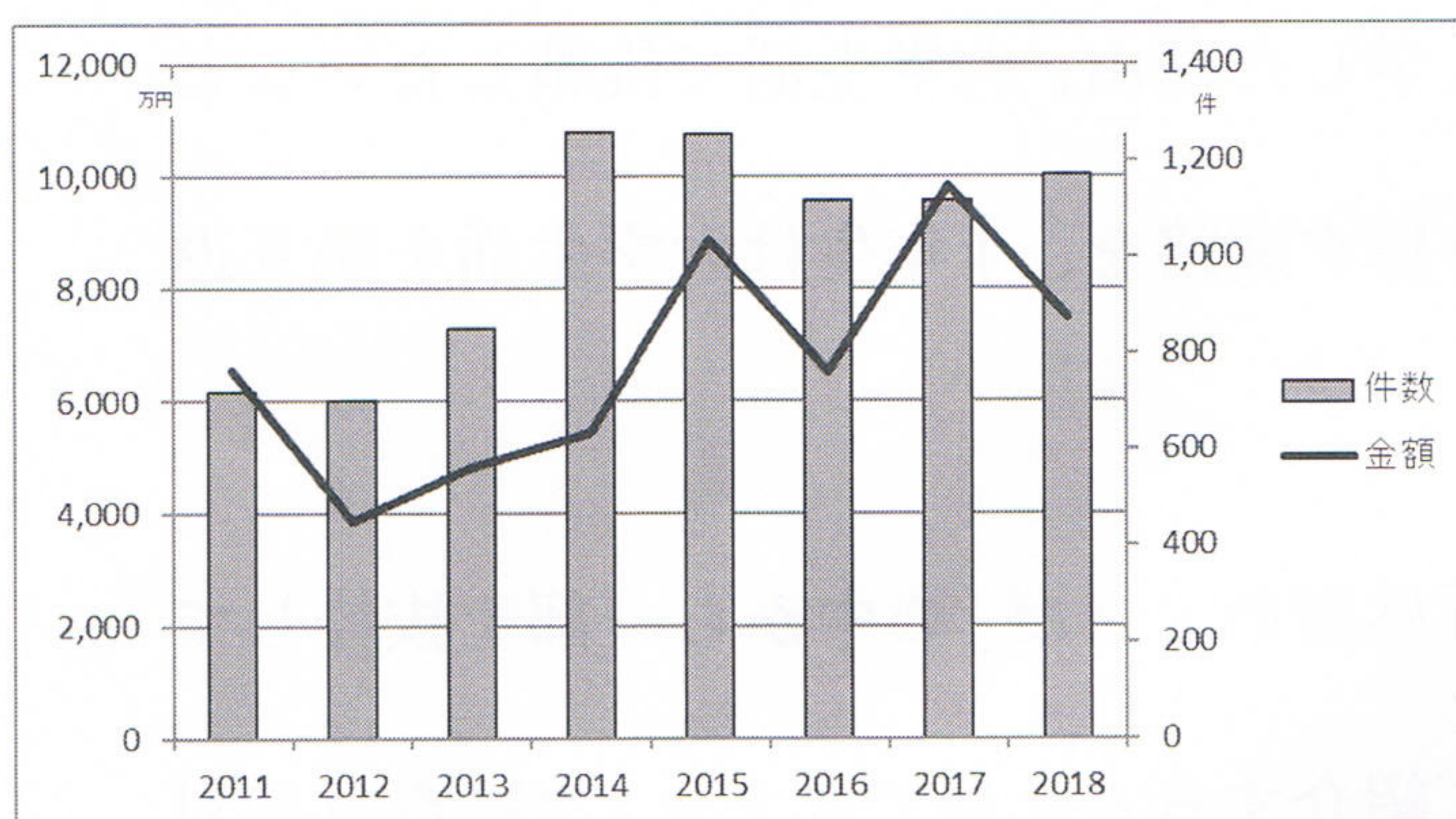
学部	応募者数	採用者数	学部	応募者数	採用者数
法学部	146	16	農学部	124	15
商学部	123	14	経営学部	104	7
政治経済学部	167	18	情報コミュニケーション学部	82	13
文学部	180	22	国際日本学部	86	8
理工学部	204	28	総合数理学部	77	9
			<b>全学部 計</b>	<b>1,293</b>	<b>150</b>

## ■ 奨学サポート資金 寄付実績

(金額は万円)

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	計
件数	719	702	849	1,260	1,255	1,116	1,118	1,171	8,190
金額	6,547	3,853	4,827	5,432	8,874	6,533	9,846	7,494	53,406

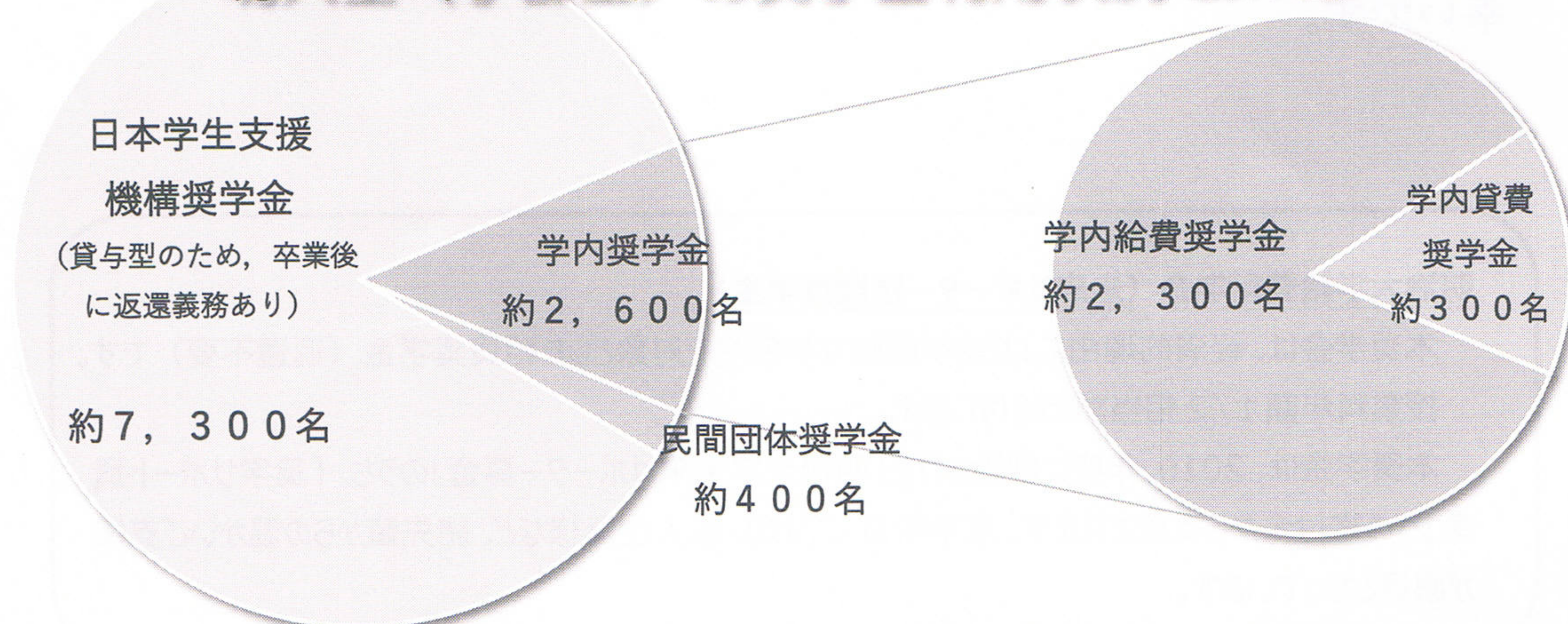
### <寄付実績の推移>



### ■ 寄付者の方々の声 (寄付の際に頂戴したコメントを掲載します)

- ・ 些少ではありますが、役立ててください。
- ・ 奨学給付制度にはお世話になりました。支援させていただきます。
- ・ 明治大学で学生時代を過ごせた事を誇りとしております。
- ・ 将来の自分を信じて、いつでも、どこでも、なんにでもチャレンジしてください。

## 明大生 (学部生) の奨学金利用状況 (2017年度)



明大生約3万人のうち、3分の1である約1万人の学生が奨学金の貸与・給付を受けながら、学生生活を送っています



MEIJI  
UNIVERSITY

私は春に明治大学に進学することに決めましたが、実家は母が一人しかいないため経済状況は良くない状況であり、学費を祖父母に援助してもらってなんとか明治大学に進学することができました。現在は一人暮らしをしていますが、食費をはじめとする生活費の負担が大きく、金銭を気にして英語や経済学などの自分が興味を持つ分野の参考書や本を買えないなど、勉学に集中できない状況が続いていました。しかし奨学金のおかげで金銭面を気にすることなく勉学に励むことができ、奨学金を寄付していただいた方々には大変感謝しています。また勉学だけでなくサークル活動にも励むことができ、奨学金が大学生活をより充実したものにしてくれると思っています。大学生活は四年間と長くはありませんが、日々努力することで立派な明大生になろうと思います。

未来サポーター給費奨学生

(

商 学部 1 年 山口県 出身)



私の母親は、私と、そして私とともに大学生となった双子の姉のために、毎日働いてくれています。そんな母親に少しでも楽をさせてあげたいと思って、今回奨学金に出願しました。この奨学金のおかげで、母親の負担を減らすことができ、私としても、安心して学業に専念できるようになりました。本当にありがとうございます。また、私は「明治大学ジェクスピアプロジェクト」の制作部に参加しています。学業はもちろんのこと、その活動にも熱心に取り組んでいきたい所存です。私は大学からかなり離れた場所に暮らしており、片道2時間かけて通っています。その交通費も学費と同様に大きな負担となっていました。学費をサポートしてもらったおかげで、心配なく大学に通っており、今まで一度も授業を欠席していません。この状態が続くように、また大学生活をより充実させるために努力したいと思っています。

未来サポーター給費奨学生

(

文 学部 1 年 神奈川県 出身)



このたびは、未来サポーター給費奨学生として採用していただきありがとうございます。

奨学金を学費に全て充てることができ、アルバイトの時間を減らすことができました。バイトの時間を減らすことにより、大学に入って自分の学びたかった分野について時間を確保でき、打ち込めることができ大変嬉しく感じます。

また、得意分野でもある英語力の向上にも時間をかけることができました。高校の頃から、大学では実際にアメリカ、オーストラリアなどの日系企業や外資系企業でインターンシップの経験を得たいと思っていました。費用の面で諦めかけていた海外留学にも希望を持つことができました。

これから、学問において更に自己研鑽に励み、日々努力に努めたいと思います。ありがとうございます。

未来サポーター給費奨学生

(

文学部

1年

香川県出身)



この度は、未来サポーター給費奨学生として採用していただき授業料の半額を給付していただくことになり、とても助かりました。本当にありがとうございます。

現在私は公認会計士になるための勉強をしています。できるだけ多くの時間を勉強の時間に回しているのですが、どうしてもアルバイトをしなければ自分の生活費を賄うことができないでいました。さらには学費の負担も大きく、週5日は必ずアルバイトをしなければいけませんでしたが、けれども、今回のこの奨学生に選ばれたことで、奨学金の全てを学費に充てることができ、アルバイトの時間を週2日までに減らすことができました。この減らすことができた時間を資格取得のための勉強時間に回し、在学中での1発合格を目指して頑張っていきたいと思います。

未来サポーター給費奨学生

(政治経済

学部

2年

埼玉県

出身)



今回は、「未来サポーター給費奨学生」に採用していただき、大変嬉しく思っております。給付していただいた奨学金はすべて、秋学期以降の学費に充てることができますので、

本当に家計の助けになります。私は昨年度も「未来サポーター給費奨学生」に採用していただきました。そのおかげもあり、アルバイトに多くの時間をとられることもなく、国際日本学部に入學した理由のひとつである英語学習に積極的に取り組むことができている。私の両親は私が小学校四年生の時に離婚し、それ以来母が女手ひとつで私を育ててくれました。高校卒業までの18年間私を育ててくれた上に、北海道からの上京、一人暮らしを認めてくれた母には感謝しかありません。今回の採用は母も大変喜んでおります。本当にありがとうございました。

未来サポーター給費奨学生

( 国際日本 学部 2 年 北海道 出身 )



親が今月に入社せくなり、学費などの工面が難しくなったため、大学を辞めることも視野に入っていました。この度奨学金を給付していただくこととなり、大変助かりました。

二年生になり、昨今よりも専門的なことに触れる機会が増えました。しかし、自分がどの分野に進みたいのかということは具体的には決まっておらず、あと少しで春学期も終了し、秋学期の後半では研究室の配属が決まります。進みたい自分の進みたい道を見極められるように短い時間ですが、秋学期も今までと同様に様々な分野の授業を選択し、将来への可能性を広げたいと思っています。専門科目だけでなく、教養科目もこれから生きていく上で欠かせないものなので、満遍なく選択してまいります。最後になりましたが、大学を続けるという選択肢を認めていただいたことは、本当にありがとうございました。

未来サポーター給費奨学生

( 総合教理 学部 2 年 愛知県 出身 )



私は奨学金を学費に当てることによりアルバイトの時間を減らすことが可能になりました。アルバイトの時間削減は自分の生活に精神的、時間的なゆとりをもたらしてくれました。逼迫していた自分の生活が、勉強時間や睡眠時間の確保をできるようになりました。特に、深夜2:00までアルバイトをしなくて良くなったのは生活リズムの改善につながり、朝の学校での勉強や部活動が捗るようになりました。私は現在、経済と英語の勉強に力を入れております。部活動と共に、4年間の勉学も後悔の無いように全力でやり切って、将来は世界で働くグローバルな人材になりたいと思っています。そして、より日本を豊かにしていく形でこの御恩を還元していきたいです。本当にありがとうございます。

未来サポーター給費奨学生

(

政治経済学部

3年

愛媛県出身)



MEIJI  
UNIVERSITY

高校2年生の頃から母子家庭となり母の収入頼りで生活してきましたが今年の春に母が失業してしまい、秋学期の学費の支払いの目処が立っていませんでした。しかし、今回未来サポーターに選ばれたことで、秋の学費の支払いは問題なくなりました。本当にありがとうございます。私は現在、夏のインターンシップに向けて準備を進めています。具体的には、企業の説明会に行き様々な業界について石研究し、実際に3社へのインターンシップに行くことになりました。早めに就職活動を始めることにより、自分に適している業界、企業を見つけたいです。将来は社会人として、世の中に貢献できるような仕事に就き、これまでお世話になった方々と母校の明治大学に恩返してできるように努めていきます。

未来サポーター給費奨学生

(

文学部

3年

福岡県出身)



この度は授業料の半額を給付していただき、誠にありがとうございます。本来にありがとうございます。私は大学入学以来、学費以外、全ての費用をアルバイトと奨学金で賄ってきました。それだけでも苦しい生活でしたが、2016年、熊本地震で父を亡くし、唯一負担してもらっていた学費の納入も厳しい状況になりました。それでも母は私にこれ以上負担をかけまいと仕事をしてくれていたのですが、今年6月に職を失い、家計は大変厳しい状況でした。そんな中奨学金を給付していただけたことで、アルバイトに時間を費やさず済ませることができ、現在励んでいる宅建の勉強に専念することが出来ます。皆様のご支援に応えるべく、一層精進します。

未来サポーター給費奨学生

( 商 学部 4年 熊本県 出身 )



この度は、奨学金をいただき、本当にありがとうございます。  
私が大学に入学した年に、女手一つで育ててくれた母は体調を崩して仕事ができなくなりました。しかし、好きな勉強を続けてほしいという母の思いを受けて大学に入り、1年生の時から毎年奨学金をいただいていたおかげで、学業とアルバイトを無理なく両立してこれました。大学で学ぶ中で自分を日々支えてくれる良質なコンテンツやサービスを多くの人々に広める広告業界の仕事に興味を持ちました。3年時はアルバイトを少し減らし、インターンシップなどに積極的に参加することができ、就職活動にも集中できました。来年から広告会社で働けることになり、今は仕事に繋がるよう勉強をしています。  
皆様はまだ何者でもない私たちを支援し見守ってくださったように、私もまだ世に出ている価値あるものを見つけ世界に広める仕事を通して、いただいた恩を返していきたいと思っております。

未来サポーター給費奨学生

( 文 学部 4年 京都 出身 )



4年間のあゆみ (情報コミュニケーション学部 4年 岐阜県 出身)

明治大学に入学を決めた理由, 1年次で取り組んだこと

文理の壁を越えて広く学べることに惹かれて情報コミュニケーション学部に入りました。入学当初から希望していたNPO体験プログラムに参加して、現地の方の寛大さや価値観に触れることができました。日本の慣例が通用しない場所でのインタビューは難しく英語でのコミュニケーションの重要性やチャレンジ精神の必要性も再認識しました。

2年次で取り組んだこと

友人の紹介でコンサルティング会社でのインターンを始めました。研修室の予約管理や営業担当者向けのマニュアル作成など限られた業務ですが、働くことの魅力や刺激に触れられて新鮮でした。学業では、社会心理学の授業が印象に残っています。例えば「スーパーの試食は無料で頂いたからには買わなければいけない」という返報性の原理によっても購買につながっていると学びました。

3年次で取り組んだこと

3年間所属したダンスサークルを2月に引退しました。就活が本格的に忙しくなると、最後の舞台の深夜練習が重なり、心身ともに限界寸前のもとなりましたが、友人の同期に合わせたながら、やり切ったという達成感を味わうことができました。多忙なスケジュールでも資格取得に挑戦し、漢検2級、ニュース検定2級、色彩検定3級に合格しました。

4年次で取り組みたいこと, 取り組んでいること

ゼミでは、ドキュメンタリーの卒業制作に力を入れています。遺伝子や環境が似ている双子はどのように個性を発見し、発揮しているのかをテーマにして、双子の友人に話を聞きはじめました。教育者や双子の娘を持つ親御さんにもインタビューをしています。

将来の目標・目指す進路

「のしいわさ」をコンセプトのPR会社に内定しました。おもしろく気が付き任侠性を通して、それぞれが考えつき、かけを創りたいです。自分と距離がある社会問題を他人事にならず考えられる人が少ないと思うからです。人に伝えにくくなる話題を創りたいです。ことで世の中に考えつき、かけを作っていきたいです。

寄付者の皆さまへ 感謝のことは

未来サポーター給費奨学生に4年間採用いただきありがとうございます。母子家庭でアルバイトと奨学金で生活費を賄っている中で授業料の半分を寄付していただければ、私には挑戦する機会を与えてくれ、思い描く学生生活を過ごすことができました。学業に興味を探究し、希望を持って社会へのスタートに立ちたい。何よりみなさんのご支援のおかげであり、深感謝しています。卒業後もますます精神17まいます。



お問い合わせ先

明治大学 大学支援事務室 03-3296-4057・4059

2019.10